

ISO2015年版再確認 N05 フジネット 藤村久男

★7.2 力量

- ・QMS に関わる人々でパフォーマンスに影響を与える人々に必要な力量を明確にし、明確にした力量を該当する人々に備えるための要求事項が規定されている。製品要求事項への適合のみではなく、QMS のパフォーマンス及び有効性となっていることに注意
- ・EMS のパフォーマンスに影響を与える業務、順守義務を満たす組織の能力に影響を与える業務を、組織の管理下で行う人に必要な力量を明確にし、明確にした力量を該当する人々に備えるための要求事項。
適切な教育・訓練に基づき、人々が力量を備えるようにすること。その場合、教育・訓練の結果の有効性を評価すること。
→パフォーマンス：測定可能な結果
→環境パフォーマンス：環境側面のマネジメントに関連する測定可能な結果
パフォーマンスは、定量的（具体的な量、数値）または、定性的（性質とか特性）な所見のいずれにも関連する。
→有効性：計画した活動を実行し、計画した結果を達成した程度をいう
→組織の管理下で働く人々：従業員のみではなく、協力会社の従業員、構内外注の作業員、資材購入先などのことを言う
→組織の力量は、公的な資格のみではなく、組織が必要な力量（検査員（受入、出荷）、主要業務の作業等）

★7.3 認識（新規要求事項）

- ・QMS、EMS に関わる人々がどのような認識を持って業務に当たる必要があるかを規定している。
- ・認識とは、単に“知っている”だけでなく“その本質、意義を理解し、自己の活動におきかえることができること”。
- ・組織の管理下で働く人々は、品質・環境方針、QMS、EMS の有効性に対する自らの貢献、QMS、EMS 要求事項に適合しないことの意味を理解し、自らどのように関与すべきかがわかること、また、そのように行動出来ることが求められている。
→組織の管理下で働く人々：従業員のみではなく、協力会社の従業員、構内外注の作業員、資材購入先などの人々のことを言う

★7.4 コミュニケーション

コミュニケーション	内部コミュニケーション			外部コミュニケーション			
	全体会議	営業会議	工程会議	顧客（エンドユーザー）	外部提供者	法規制当局自治体等	業界団体
内容	連絡事項	営業内容	工程内容	満足度（苦情）	満足度	改正等	業界関連
実施時期	月1回	月2回	必要都度	必要都度	箇条9.1.2参照	1/半年	必要都度
対象者	部長以上	部長以上	部長以上	部長以上	部長以上	部長以上	部長以上
方法	朝礼	会議室	会議室、現場	アンケート等	実施時期と同様	HP閲覧等	業界会合
行う人	社長	営業部長	製造部長	営業部長	営業部長	管理責任者	社長

- ・QMS、EMS に関連して、内部及び外部のコミュニケーションをどのようにして取る必要があるか決定することが要求されている。それには次の事項を含めなければならない。
 - a) コミュニケーションの内容
 - b) コミュニケーションの実施時期
 - c) コミュニケーションの対象者
 - d) コミュニケーションの方法
 - e) (QMSのみ) コミュニケーションを行う人
- 内部コミュニケーションには、組織の種々の階層、機能間がある
- QMSの外部コミュニケーションは新規要求事項で、顧客、購買先、協力会社、法規制当局、自治体、業界団体等がある
- EMSの外部コミュニケーションは、特に順守義務に基づくことが重要
- ・コミュニケーションには、一方向の場合と、双方向の場合がある。一方向の伝達や周知も方法だが、コミュニケーションの内容によっては、双方向の伝達が必要となる事もある。
- 内部、外部のコミュニケーションを上記 a)～d) の事項を含めて決定する。〔事例左表〕

この冬は雪も少なく、どうやらこのまま春に向かうような感じですが、186号より2015年版の再確認として始めましたこのシリーズはご理解頂けていますでしょうか。

2015年版の大きな目的の一つに業務実態との統合があります。日常業務のすべてを洗い出し、実態をしっかりと記録して、内容に問題がないかしっかりとチェック。その後、ISO規格と照合しながら要求事項が抜けていないかを検証し、抜けていればそれを確立して真の自社のシステム文書としてください。どうかこのシリーズを参考に、日常業務に合ったマネジメントシステムを構築していただけることを願っています。
フジネット 藤村久男